

* 簿記とは？

会計上の記録と集計の技術

* 会計の流れ

測定	記録	集計	報告
会計の範囲 (~)	
簿記の範囲 (,)	

* 記録のシステムは 3 つ

- 1、記録の場所を「勘定」という (T字型がベース。左側を借方、右側を貸方)
- 2、反対記入による減算 (足し算がベース。同じ段で直接控除しない)
- 3、複式記入 (同じ金額を借方と貸方に記入)

* 記録の事前準備 (貸借対照表の作成)

保有する資産が何によって調達されたかを整理することが簿記の出発点

資産：経営上所有するお金、物、権利等。

負債：借入金等のように義務を負うもの (資産に対するマイナス要素)。

資本：簿記的には資産から負債を引いた額

ところで、

$$\text{資産} - \text{負債} = \text{資本} \dots$$

式の負債を右辺に移動すると、

$$\text{資産} = \text{負債} + \text{資本} \dots$$

式を勘定的に表すと、貸借対照表になる（下図）。

資 産	負 債
	資 本

資産・負債・資本等を具体的な科目に分類したものを 勘定科目 という

貸借対照表とは ...

ある時点における資産・負債・資本の状況（財政状況という）を表す。借方の資産が、貸方の負債と資本とによってどのように調達されたかが対比される。

演習 A、B

期末資本 - 期首資本 = 純利益（または純損失） . . . < 事例 >

貸借対照表は、期中の取引によって変動する。取引開始後、貸借対照表は締め切られているので、まず、貸借対照表の各項目を独立の勘定科目として分解することが、期中取引の複式簿記記入の出発点となる。

例 貸借対照表

現金	100	借入金	400
土地	500	資本金	500
大農具	300		

現 金

* 簿記において記録されるべきもの

資産・負債・資本の増減をもたらす活動もしくは事象を“取引”と言い、簿記ではこの取引を記録していくことになる。

例：米を販売し、代金 500 万円を現金で受け取った。

現 金

(貸借対照表上の勘定科目では、現金を受け取った事実は把握出来るが、米を販売したという事実は把握出来ない。・・・そこで損益に関する勘定科目が必要となった。その損益に関する勘定科目を集計したものが損益計算書である。)

ところで、

収益 - 費用 = 純利益 (または純損失)・・・

式の左右を入れ替えると、

費用 + 純利益 (または純損失) = 収益・・・

式を、勘定的に表すと損益計算書となる (下図)。

費用

収益

純利益

演習 C、D

損益計算書とは...

一会計期間における経営努力とその成果を明らかにするもの

貸借対照表によっても期間利益は算定されるが、どれがどのような活動によって生み出されたかは、明らかにされていない。

損益計算書では、経営努力を示す費用とその成果なる収益とが対比によって算定され、企業の業績をより適切に明らかにすることが出来る。

例

貸借対照表 (万円)		損益計算書 (万円)	
現金	200	借入金	500
土地	300	資本金	500
大農具	300		

演習 E、F

* 記録の開始

1、仕訳

: ある取引においてどの勘定の借方にいくら記入し、どの勘定の貸方にいくら記入するかを区分けすること(借方要素と貸方要素の分析)

2、勘定記入・・・勘定科目毎の記録(転記とも言う)

: 仕訳に基づいて実際に各勘定の借方と貸方に記入する作業

例 1、野菜を販売し、販売代金 20,000 円を現金で受け取った。

例 2、上記の販売代金を、銀行に預金した。

		(勘定記入)	
(仕訳)	借方	貸方	現金
	-----		野菜収益
	-----		預金

農業簿記資料 1 - 補足

平成 14 年 6 月

・・・略語について

B / S : _____

P / L : _____

・・・貸借対照表と損益計算書について

借方の合計と貸方の合計は必ず一致させる。

それぞれの当期純利益（または当期純損失）は必ず等しくなる。

自分の計算があっていたかどうか確認出来る。

・・・当期純利益の配置について

貸借対照表と損益計算書では逆！

当期純利益と当期純損失を混同しない。

B / S	
資 産	負 債
	資 本
	()

P / L	
費 用	収 益
()	

B / S	
資 産	負 債
	資 本
()	

P / L	
費 用	収 益
	()

演習 F まで。

・・・仕訳・勘定記入について

取引要素の結合関係： 教科書 p 2 1 の図を参照のこと。

基本ルール：

仕訳のコツ：

勘定口座の勘定科目：

演習 G、H

農業簿記資料 - 資産の記帳

平成14年6月

1、資産の分類・・・教科書p39参照

2、流動資産の記帳

(覚える勘定科目)

現金：

(例1) 米の売上代金20万円を小切手で受け取った。

借方 貸方

現金過不足：

(例2) 現金が現金勘定の残高より5,000円不足していた。

借方 貸方

(例3) 上記の現金不足は、肥料費の記帳もれであることが判明した。

借方 貸方

預金：教科書P41を参照のこと

当座預金：

(例4) 牛乳を販売し、代金20万円が当座預金に振り込まれた。

借方 貸方

(例5) 農薬を購入し、代金5万円を小切手を振り出して支払った。

借方 貸方

当座借越：

(例6) 肥料 20 万円を購入し、小切手を振り出して支払った。当座預金残高は 15 万円であるが、借越限度額 30 万円の当座借越契約をしているものとする。

借方 貸方

(例6 - 2) 野菜を販売し、代金 8 万円が振り込まれた。

借方 貸方

当座：

(例8) 肥料 20 万円を購入し、小切手を振り出して支払った。当座預金残高は 15 万円であるが、当座借越契約をしているものとする。当座勘定を用いて仕分けなさい。

借方 貸方

(例8 - 2) 野菜を販売し、代金 8 万円が振り込まれた。

借方 貸方

小口現金：

(例9) 小口現金制度により、息子に 10 万円の小切手を振り出して渡した。

借方 貸方

(例9 - 2) 農薬費 3 万円を支払ったとの報告を受け、小切手を振出して補給した(定額資金前渡制による)。

借方 貸方

農業簿記資料 - 資産の記帳 2

平成14年6月

売掛金：

(例1) 野菜2万円を売り、代金は後日受け取ることにした(掛けで売った)。

借方 貸方

未収金：

(例2) トラクタを30万円で売却し、代金は後日受け取ることにした。

借方 貸方

前渡金：

(例2) 野菜種子を注文し、予約金2千円を現金で支払った。

(例2-2) 野菜種子が到着し、代金5千円のうち残額3千円を現金で支払った。

借方 貸方

貸付金：

仮払金：

(例3) 野菜産地の視察旅行にあたり、10万円の現金を支払った。

(例3-2) 視察旅行から帰宅し精算した結果、旅費は9万円で、残額が現金で戻った。

借方 貸方

受取手形：

未販売農産物：

(例4) 期末に残っていた食用ジャガイモ6千kgをkg当たり50円に評価した。

借方 貸方

未収穫作物：

(例5) 期末に、栽培中のコムギを種苗費3万、肥料費8万、農薬費6万円で評価した。

(例5-2) 期首に、例5のコムギについて再整理仕訳した。

借方 貸方

肥育家畜：

繰越資材：

(例6) 期末に、肥料¥15,000、農薬¥5,000が未使用であった。ただし、これらの費用は、すでに費用発生取引として記帳済みである。

借方 貸方

棚卸資産とは...

(教科書で出てくる補助簿)

現金出納帳

当座預金出納帳

売掛金元帳

現物受払帳

農業簿記資料 - 資産の記帳 3

平成14年7月

土地：

- (例1) 畑を購入し、代金300万円は小切手で支払った。
- (例1-2) 畑の改良を行い、工事代金20万円を現金で支払った。
- (例1-3) 上記の畑を帳簿価格で売却し、代金は全額当座預金に入金された。

借 方	貸 方

建物：

構築物：

大農具：

家畜：

永年植物：

建設仮勘定：

- (例2) 納屋の建築用に、木材20万円、セメント1万6千円を現金購入した。
- (例2-2) 納屋の建築にあたり人を雇い、現金で30万円支払った。
- (例2-3) 上記の納屋が完成した。但し、他に費用はかかっていないものとする。

借 方	貸 方

付随費用について・・・

育成家畜：

（例3）育成中の繁殖肉牛に使った費用は、飼料費 15 万円、診療衛生費 3 万円だった。ただし、これらの資材は購入時に費用発生として記帳済みである。

（例3-2）上記の育成中の繁殖肉牛について、さらに雇人費 18 万円、水道光熱費 7 万円がかかった。ただし、これらは費用発生として記帳済みである。

（例3-3）上記の育成中の繁殖肉牛が成熟期に達した。但し、肉牛の育成にあたり、上記以外の費用はかかっていないものとする。

借 方	貸 方

育成永年植物：

無形固定資産・・・

投資等・・・

（例4）農協出資金 5 万円を預金から納めた。

借 方	貸 方

繰延資産・・・

資産の分類について

農業簿記資料 - 負債・資本の記帳

平成14年7月

買掛金：農畜産販売物に消費する資材等の未払いに使用する勘定科目。負債 売掛金

(例1) 肥料¥2,800を代金後払いで購入した。

(例1-2) 上記代金を現金で支払った。

借 方	貸 方
_____	_____
_____	_____

未払金：買掛金以外の未払いに使用する勘定科目。負債 未収金

(例2) トレーラー¥500,000を代金後払いで購入した。

借 方	貸 方
_____	_____
_____	_____

短期借入金：1年以内に返済する借入金。負債 短期貸付金

借用証書による借入れや、手形を振り出して借入れる借入金。

(例3) 借用証書により現金¥300,000を借入れた。

借 方	貸 方
_____	_____
_____	_____

前受金：予約金等を受け取った場合に使う勘定科目。負債 前渡金

(例4) 米の予約注文を受け、予約金¥10,000を現金で受取った。

借 方	貸 方
_____	_____
_____	_____

仮受金：現金の受取りはあったが、相手勘定が未定の場合に使う仮勘定。 仮払金

(例5) 当座預金口座に¥50,000の入金があった。内容は不明である。

(例5-2) 上記金額については、売掛金であることがわかった。

借 方	貸 方
_____	_____
_____	_____

長期借入金：借入期間が1年を越す借入金。負債

農業近代化資金、農業改良資金等の借入れる借入金。

(例6) 農業改良資金 ¥2,000,000 を借入れ、当座預金に入金された。

(例6-2) 上記借入金について、元金 ¥100,000、支払利息 ¥24,000 が当座預金から支払われた。

借 方	貸 方

支払手形：約束手形を振り出したり、取引先の為替手形を引き受けた場合に
使う勘定科目。負債 受取手形

引出金：家計への出入りがあるときに使う勘定科目

(例7) 経営の普通預金 ¥100,000 を引き出し、家計の食費にあてた。

(例7-2) 先日収穫した米のうち 60kg ¥15,000 を家計に仕向けた。

借 方	貸 方

資本金：農業経営の場合、期首の資本額・当期の純利益・期末における引出金の振り替え
に使われる。資本

農業簿記資料 - 収益・費用の記帳

平成14年8月

* 収益・費用の分類

農業損益： _____ (稲作収益、野菜収益、・・・肥料費、農薬費、・・・)

農業外損益： _____ (受取利息、・・・、支払利息、・・・)

特別損益： _____

< 農業上の収益 >

収益：稲作収益、畑作収益、野菜収益、畜産収益等がある。

過年度生産物販売益： _____

< 農業上の費用 >

種苗費：種初をはじめ、野菜等の種子、苗など

素畜費： _____

種付料： _____

肥料費：化学肥料、堆肥、鶏糞等の購入代金

飼料費： _____

農薬費：病虫害防除に使う農薬や除草剤のほか、ホルモン剤が含まれる。

診療衛生費： _____

小農具費： _____

作業衣料費： _____

燃料費： _____

諸材料費：ビニール、トタン、敷料等、他の科目に属さない消耗品類

雇人費：雇用労働者の賃金、賄い費等。

専従者給与： _____

水道光熱費： _____

修繕費： _____

共済保険料： _____

賃借料：ライスセンター、トラクター等の使用料等

租税公課： _____

減価償却費：次回資料を参照のこと。

販売費：販売に要した費用

一般管理費：事務用品、研修費、通信費等

過年度生産物販売損： _____

(例1) 農協から草刈り鎌2丁、@¥1,300を現金で購入した。

借方 貸方

(例2) 建物共済掛け金¥30,000を農協の当座預金から支払った。

借方 貸方

<農業外の経常的な収益>

受取利息：預金、貸付金等の利息

受取地代：農地の地代を受け取った場合等に使う勘定科目

受取配当金：_____

農業外雑収益：_____

<農業外の経常的な費用>

支払利息：借入金等の利息

支払地代：農地の地代を支払った場合等に使う勘定科目

農業外雑費：_____

<特別の利益>

固定資産処分益(固定資産売却益)：_____

共済保険金：_____

補助金：_____

(例3) 帳簿価額¥200,000の土地を¥300,000で売却し、現金で受け取った。

借方 貸方

<特別の損失>

固定資産処分損(固定資産売却損)：_____

災害損失：_____

(例4) 帳簿価額¥300,000の納屋が火災で焼失した。

借方 貸方

農業簿記資料 - 減価償却

平成14年8月

* 減価償却とは・・・

減価償却費：

.....

< 減価償却額の計算 >

定額法

(例1) 取得原価100万円のトラクタの耐用年数は5年、残存割合は10%のときの1年分の減価償却額を求めよ。

P

F

定率法

(例2) 取得原価100万円のトラクタの耐用年数は5年(償却率は0.369)のときの1年分の減価償却額を求めよ。

P

F

ボックスを利用した定額法の計算方法

(例3) トラクタを¥5,000,000 で取得した。定額法によって1年分の減価償却額を求めなさい。耐用年数は8年、残存割合は10%である。

減価償却額 _____

* 減価償却額の月割計算

月割による減価償却額 =

(例4) トラクタを¥5,000,000 で4月に取得した。定額法により、その年の決算日における減価償却額を求めなさい。耐用年数は8年、残存割合は10%、決算日は12/31である。

減価償却額 _____

* 減価償却の仕訳

直説法

間接法

(例 5 - 1) トラクタ ¥1,000,000 を取得し、代金は小切手を振り出して支払った。

(例 5 - 2) 決算にあたり、トラクタの当期の減価償却額は ¥180,000 であった。

直説法の場合・・・

	借 方	貸 方
(例 5 - 1)		
(例 5 - 2)		

間接法の場合・・・

	借 方	貸 方
(例 5 - 1)		
(例 5 - 2)		

* 固定資産税台帳

* 次回から資料は準備しないので、各自ノート等を準備すること。

1、貸借対照表と損益計算書

2、勘定科目の分類

3、現金過不足

(例 1-1)現金の実際有高が帳簿残高より ¥ 46,000 不足していたので、現金過不足勘定で処理した。

借 方	貸 方

(例 1-2)その後、肥料費の支払額¥36,000、および受取利息¥4,000 が記入もれであることが判明した。

借 方	貸 方

(例 1-3)現金過不足勘定の残額は不明のため雑損として処理することにした。

借 方	貸 方

(例 2) 現金の実際有高が帳簿残高より ¥ 46,000 不足していたので、現金過不足勘定で処理しておいたが、その後、肥料費の支払額¥36,000、および受取利息¥4,000 が記入もれであることが判明した。残額は不明のため雑損として処理することにした。

借 方	貸 方

農業簿記演習 - 決算

平成14年11月

例題1 地代を当期・次期の2年分¥100,000を支払ってある。決算に際し、前払い分¥50,000を次期へ繰り延べた。

例題2 決算に際し、地代の前受け分¥50,000を次期へ繰り延べた。

例題3 例題1と例題2の再整理仕訳をしてみよう。

例題4 農事手伝い1人を月給12万円で雇用している。給与の支給日が毎月20日であるため、12月31日の決算日において、当期の給与未払い額は¥40,000となる。

例題5 道路に面した土地を月¥60,000でドライブインに貸してあり、2ヶ月分をまとめて月末に受け取る契約になっている。12月・1月分の受け取りは、1月31日である。12月31日の決算日において、当期の地代未収額は¥60,000となる。

例題6 例題4と例題5の再整理仕訳をしてみよう。

例題7 期末の売掛金残高¥100,000について、5.5%の貸し倒れを見積もった。

例題8 丸一青果に対する売掛金¥10,000が貸し倒れになった。ただし、貸倒引当金残高が¥20,000ある。

例題 9 期末の売掛金残高 ¥ 100,000 について、5 . 5 % の貸し倒れを見積もった。ただし、前期繰越の貸倒引当金残高が ¥ 2,000 ある。

例題 10 決算整理事項は次の通りであった。整理仕訳を行い、清算表を作成しよう。

整理事項 (1) 農薬の使い残しが ¥ 5,000 あった。

(2) 動力耕耘機の減価償却額を ¥ 27,000 に見積もった。

例題 11 白馬農場では、別紙の棚卸表を作成した。整理仕訳を行い、清算表を作成しよう。

例題 1 1 の仕訳解答

未販売農産物	130,000	/	畑作収益	130,000
未収穫作物	350,000	/	種苗費	52,000
		/	肥料費	148,000
		/	農薬費	50,000
		/	賃借料	100,000
繰越資材	17,000	/	肥料費	17,000
減価償却費	540,000	/	大農具	540,000
減価償却費	75,000	/	建物	75,000
貸倒償却	5,500	/	貸倒引当金	5,500
資本金	1,440,000	/	引出金	1,440,000